



若い力 全開！ 夢若祭

3月12日 グリーンカルチャーセンターにおいて、町連合青年団の『夢若祭』が開催されました。

踊りや太鼓の披露の合い間には余興も入り、楽しいひと時でした。また、1月下旬から毎日練習を重ねてきたとのことで、素人離れした舞台はとても見応えがありました。

現在団員は20名ほどで、各地区の事業への協力・参加の他、オッコー祭や町芸能音楽祭などへも参加し、地域の活動を支えています。

これからも若い皆さんのパワーに期待します。

卒業 たび だち 新たな世界への出発

3月16日 町内2校の中学校で147名が卒業式を迎えました。

南中学校では、校長先生から卒業証書を授与された卒業生が、壇上で一人ずつ先生方へのお礼や友達との友情、両親への感謝の気持ちを述べ、目頭をおさえたご両親や在校生から大きな拍手が贈られました。

今日の日を胸に、新たな世界へ大きくはばたいてください。



東都高原富士見会だよりについてのお知らせ

東都高原富士見会の皆様には長年にわたり、毎月あたたかなメッセージをお寄せいただき、ありがとうございました。

本年度より、年3回(5・8・12月)程度の掲載とさせていただきます。これからもふるさと富士見へご厚情賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新たに6件を町文化財に指定

3月9日、教育委員会では文化財専門審議会の答申を受けて、6件の文化財を町の文化財に指定しました。

平成15年から15件ほどの文化財を候補にあげて審議してきたもののうち、下記6件を先行して指定するものです。

- * 乙事の諏訪社本殿（重要文化財の拝殿・弊殿の真後ろにある社殿）
- * 唐渡宮遺跡の人体絵画土器
- * 坂上遺跡の土偶
- * 藤内遺跡
- * 居平遺跡
- * ナウマンゾウの臼歯化石

人体絵画土器には、毛筆によって墨のようなもので、母神が出産する状景が描かれています。

土偶は右足が欠損していますが、高さ23センチの女神の全身像で、細密な文様が施されています。

烏帽子地籍の藤内遺跡と居平遺跡は、町有地を中心として、それぞれ隣接する民有地の一部もふくめた範囲を指定しました。

ナウマンゾウの臼歯化石は、1990年7月、小池尚志さんによって偶然、矢の沢川の河床から発見されたものです。



ナウマンゾウの臼歯化石



唐渡宮遺跡の人体絵画土器